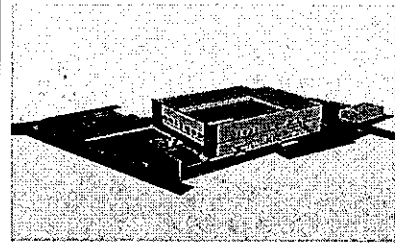


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	梅の花 京都セントラルキッチン 新	階数	地上2F
建設地	京都府綴喜郡井手町大字多賀小字	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,015 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2018年7月2日
敷地面積	10,411 m ²	作成者	坂下 和昭
建築面積	2,974 m ²	確認日	2018年7月2日
延床面積	5,803 m ²	確認者	坂下 和昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 1.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合 環境負荷低減のための資源・マテリアルや敷地外環境に重点を置き、環境設計を進めます。		その他
Q1 室内環境 室内環境の空気質を考慮し、積極的にF★★★★を採用します。	Q2 サービス性能 天井高さによる快適さを考慮し、CH2,700以上の天井高さを確保します。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の25%以上の緑地を確保する。
LR1 エネルギー 再生可能エネルギーとして、太陽光発電を設置します。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を積極的に使用します。	LR3 敷地外環境 交通負荷抑制のため、敷地内に駐車場・駐輪場・荷捌き等のエリアを設け、交通の負荷の低減を図ります。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される